

明日をひらく窓

第 89 号
登別市教育委員会
教育部社会教育グループ発行
TEL 88-1154



学んで広がるみんなの輪

＝生涯学習ニュース・話題・トピックス・情報＝



夢膨らむびかびかの一年生

新入生児童 交通安全啓発運動

4月6日(金)に登別市内の全ての小・中学校の入学式が行われました。

富岸小学校では市長や警察署長をはじめ関係者の方々が「新入生を交通事故から守る安全啓発運動を実施しました。

お父さん、お母さんに手を引かれた新入生児童に交通安全に関するグッズが入っている袋を優しく声をかけながら手渡しました。

(今年の小学校の新入生は全市で405名、中学生は449名)



【若草小学校前の横断歩道での交通安全啓発運動】

教育委員会では児童生徒の交通安全運動として、今年は4月9日(月)から12日(木)まで、交通指導員の方や地域の人たちと幌別東小、富岸小、若草小、鷺別小の前で交通安全運動を行いました。

ときめき大学・婦人短期大学入学式・始業式が実施される

4月25日(水)の午前10時より市民会館大ホールで「ときめき大学」と「婦人短期大学」合同の入学式・始業式が行われました。自らの「生き甲斐」や「やりがい」を探りながら、交流を通して充実した日々を過ごそうと今年は「ときめき大学」に22名、「婦人短期大学」に25名の方が入学しました。

新入生を代表して「ときめき大学」の荒関芳弘さんが力強く誓いの言葉を述べました。

引き続き第1回の講義が行われ、NPO法人ライブサポートの畑山功一

理事長が「地域交流と思いやりの心」と題して講演を行ない、自らの人生を振り返りながら、「老いて益々元気を保つためには思いやりの心を持ち、地域の人々との関わりを大切に生きていくことだ」と講演されました。



こいのぼりマラソン

5月5日(土)の「子どもの日」に“登別市子ども育成連絡協議会”主催の「こいのぼりマラソン大会」が、市の陸上競技場を発着点に行われました。

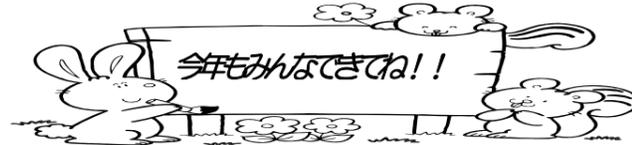
順位にこだわらず、子どもからお年寄りまで無理せず完走を目的に、7キロ、5キロ、3キロコースにわかれて行われました。



今年は晴天のもと登別市民はもとより道内外から、約200名ほどの参加者があり、沿道から家族の「がんばれ!、無理しないんだよ!」という声援に完走をめざして元気にスタートしました。

結果は 《敬称略》

- 《3キロコース》
 小学男子 ①佐々木 ②宇出津 ③根本
 小学女子 ①須藤 ②小原 ③吉田
 中学男子 ①船場
 一般男子 ①佐藤 ②若松 ③安部
 一般女子 ①柴田 ②深瀬
- 《5キロコース》
 小学女子 ①猪狩
 中学男子 ①東優希 ②東直弥
 中学女子 ①小野
 一般男子 ①中舘 ②宇佐美 ③加藤
 一般女子 ①本内 ②佐藤 ③渡辺
- 《7キロコース》
 一般男子 ①ベルナルド ②三浦 ③小林
 一般女子 ①木村



楽しく学べる体験学習

ネイチャーセンター(ふおれすと鉱山)
～自然体験から学ぶ～ 問い合わせ 85-2569

5月18日(金)～20日(日)

【木と森の遊び場】 無料開放

多くの木のおもちゃがセンターにきます。木のぬくもりに接し、家族で楽しく遊んでください。

☆☆5月のわくわくイベント☆☆

郷土資料館・文化伝承館

～郷土の歴史から学ぶ～

問い合わせ
88-1339

5月26日(土) チャンバラの申込は5/3まで

【わんぱくさむらい体験】 無料開放

チャンバラ以外にも楽しい催し物をたくさん用意しております。皆さんのお越しをお待ちしています。

ふるさとふれあい農園 始まる

5月10日(木)、幌別小学校の2年生が学校花壇に地域のお年寄りの協力で種芋の植付けをしました。

今村校長先生が「この芋が秋にはたくさんの実をつけて収穫できることを楽しみにしています。」と挨拶があり、子ども達は地域のお年寄りの方々に指導を受け、耕した畑のみぞに、秋の収穫を楽しみに、芋を等間隔でひとつひとつ丁寧に植えていきました。今月の15日、16日には登別小、青葉小、29日には富岸小学校で行います。



しつけとわがまま

親は子どもの「わがまま」に出会うとしっかりと「しつけ」をしなければならぬという気持ちになります。

でも、子どもが自由にありのままに泣いたり、おこったり、ぐずぐずしたりすることは健全な欲求ととらえることが大切です。

ここで、まちがってはいけないことは“しつける”ことを「しかる」ことと思いきや、違ってしまうことです。

「しかる」ことによって、子どもの欲求を抑え込むと不快感情がたまり、後にコントロール不能の形で出てしまうことがあります。

そういった子どもの感情を落ち着いて受け止め、抱きしめながら、時間をかけて教えていくことが“しつけ”です。訳もわからない子どもを大人の感情で、「しかりつける」ことは、大人の身勝手であり、手を挙げてしまえば、児童虐待とも受け取られてしまいます。

“しつけ”を可能にするには、大人が揺るがずに『待てる』ということが大切なのです。

子育ては難しいとは思わずに、愛情(抱きしめる行為)を持って育ててください。

我が子が健やかに成長し、豊かな人間関係を育めるように見守っていききたいものです。

